

株式会社薫製倶楽部
代表取締役 森雅昭様

2026年5月11日
読売新聞グループ本社広報部

4月30日にお問い合わせのあった、「確認をお願いしたい点」について、
回答します。

(1) 2024年9月19日付本紙朝刊に掲載された「『紅麴』プベルル酸原因」と題する記事は、厚生労働省が同月18日に紅麴製品による健康被害に関して公表した資料と説明内容に基づくものです。

厚労省が公表した「小林製薬社製の紅麴を含む食品の事案に係る取組について（国立医薬品食品衛生研究所）」と題する資料には、「原因究明において、以下を確認した」として、①工場内の青カビが、培養段階で混入し、コメ培地を栄養源としてプベルル酸を産生、②工場内の青カビが、紅麴菌との共培養により、モナコリンKを修飾して化合物Y、Zが生成、③プベルル酸については腎障害が確認されたが、化合物Y、Zについては腎障害は確認されなかった——ことが記載され、「今後の対応」の欄にも、「プベルル酸が腎障害を引き起こすことが確認されたことから、科学的な情報を引き続き収集しつつ、同一の事案の発生を防止するための食品衛生法上の措置（規格基準の策定や衛生管理措置の徹底）を検討する。」と明記されています。

この日の資料は、「9月18日厚生労働省公表資料」として、現在も厚労省のHPで公開されています。

(2) 貴社の行政文書開示請求に対する厚労省の通知書の内容に関しては、当社としてお答えする立場にはありません。

以上